

# 近畿地域の経済は、拡大を続けている。

資料) 日本銀行「地域経済報告」  
(2006年4月18日公表)

## 1. 各地域の経済動向

	06/1月判断	判断の変化	06/4月判断
北海道	緩やかながらも持ち直しの動きがみられる	→	緩やかながらも持ち直しの動きが続いている
東北	緩やかに持ち直している	→	緩やかに持ち直している
北陸	裾野を広げつつ、緩やかな回復を続けている	↗	着実に回復している
関東甲信越	回復を続けている	↗	着実に回復を続けている
東海	回復を続けている	↗	拡大している
近畿	緩やかな拡大を続けている	↗	拡大を続けている
中国	全体として回復を続けている	→	全体として回復を続けている
四国	緩やかながらも持ち直しの動きが続いている	→	緩やかながらも持ち直しの動きが続いている
九州・沖縄	着実に回復している	→	着実に回復している

## 2. 近畿の全体感

【近畿地域の景気は、**拡大を続けている。**】  
すなわち、輸出は、海外経済の拡大を背景に、増加している。設備投資は、企業収益が高水準で推移していることを受けて、着実な増加が続いている。また、雇用情勢も改善しており、個人消費は緩やかに増加している。他方、住宅投資は増加しており、公共投資は減少傾向にある。こうした需要動向を反映して、生産は増加している。この間、企業の業況感は、引き続き良好となっている。

## 3. 近畿の項目別基調判断

個人消費	設備投資	生産	雇用・所得
緩やかに増加している	着実な増加が続いている	増加している	雇用情勢は、改善している。雇 用者所得は、緩やかに増加し ている。

## 4. 各地域からの報告のポイント

足もとの景気は、大都市圏での改善が目立つほか、その他の地域でも回復方向への動きが続くなど、着実に回復を続けている。  
すなわち、多くの地域で、いち早く増加している設備投資に続き、雇用情勢の改善を通じ、個人消費や住宅投資について、比較的明らかな報告が聞かれている。このように企業部門から家計部門への波及が徐々にはっきりとしてくる中で、生産の増加がより明確になっているなど、全体として、景気回復の動きが着実なものとなってきている。ただ、北海道や四国など地方圏が「緩やかな持ち直しの動き」とどまる一方で、東海や近畿が「拡大」となるなど、依然として地域間の格差がみられている。